



スカウト 浄土



The Scout Jodo

感謝

浄土宗スカウト連合協議会

理事長 岡本圭示



前理事長溪逸郎先生より理事
長職をバトンタッチされてから
早くも2期8年が経ちました。
振り返れば短く感じられます。

協議会の年中行事の中で一番
大事な行事は浄土宗スカウト仏
教章研修会です。毎回、全国か
ら30人から50人のスカウトが集
まります。そのスカウトたちが
研修を終え、それぞれの団へ帰
って浄土宗スカウトとしてお念
仏の実践に励み、それがまたほ
かのスカウトに良い影響を及ぼ
し、念仏の輪が広がっていくこ

とを念願しています。

これまでの大きなイベント
は、平成18年の当会発足40周年、
19年(2007)のスカウト運動
創始100周年、21年の比叡山
における仏教スカウトベンチャ
ーフォーラム、さらには22年の
静岡県朝霧高原における第15回
日本ジャンボリーなどがありま
した。

ところで、このスカウト運動
には多くの寺院・教会・神社な
どが協力したり、または育成母
体となつて援助したり、運営に
携わつたりしています。それは、
スカウト運動の根底に宗教があ
るからです。日本連盟規程集の
一般原則1-21に

「本連盟は、本運動に参加する
ものが明確な信仰をもつことを
奨励する」

とあり、これにより、信仰奨励
章ならびに宗教章が制定されて
いるのです。

もちろん信教の自由がありま
すからスカウトの保護者としてよく
話し合い、家族の宗教に合わせ
た教宗派を紹介してスカウト個
人の信仰を深めるよう隊長が指
導します。スカウト運動の創始
者ベーデン・パウエル卿は
「スカウトに信仰心がなければ、
単なる技術屋にすぎない」
と言っています。逆に言えば、
信仰心をもっているスカウトは
本物のスカウトだと言えます。

私たち浄土宗スカウト連合協
会は、本物の浄土宗スカウトを
育てるべく一所懸命にこれから
も努力するつもりです。

私の任期は間もなく終わり、
次期理事長は5月の総会で決ま
ります。私は新理事長を支え、
相談相手になれるようにお手伝
いさせていただけようと思つてお
ります。

これまで私を支えてくださつ
た役員の方々、事務局の皆さま
に心から感謝申し上げます。

第15回日本ジャンボリー報告 浄土宗信仰奨励パビリオン開設

浄土宗スカウト連合協議会事務局

脇川 公暢

日本ジャンボリーとは、昭和31(1956)年から4年に一度開催されている日本のボーイスカウト最大のキャンプです。今回で15回目となる日本ジャンボリーは、平成22年8月2日(月)から8日(日)にかけて行われ、静岡県富士宮市朝霧高原に日本全国から2万人近いスカウトたちが集結しました。

ジャンボリーの期間中、参加スカウトたちはさまざまなプログラムに挑戦しますが、今回のジャンボリーから信仰奨励のための特設サイトが設けられました。そこでは、「各人の信仰」に基づいて、スカウト一人ひとりが、明確な信仰を持つよう、また信仰心を高めて精神的に充足して大会を楽しむことができるとようなプログラムが展開されました。

信仰奨励サイト内には、各教

宗派がそれぞれ工夫を凝らし、礼拝の場が設置され、教義、歴史、スカウト手帳などの展示が行われました。出展されたのは、神道、キリスト教(カトリック、プロテスタント、末日聖徒イエス・キリスト教会)、金光教、世界救世教、仏教(浄土宗、浄土真宗本願寺派、真宗大谷派、天台宗、高野山真言宗、日蓮宗、曹洞宗、立正佼成会)、それにイスラム教です。これだけの教宗派が一同に集まることができ



するための取得方法や、授与基準等を紹介する展示コーナー、まが玉、念珠、ロザリオ作りと平和への祈りをこめて1万回の鐘つき体験コーナー、宗教的な問題だけでなく、活動や人間関係の悩み等についての相談コーナーなどが設けられました。



浄土宗のパビリオンでは、訪れてくれたスカウトたちに、浄土宗の教義の説明や、数珠の持ち方への指導、木魚をたたきながらのお念仏の実践を行いました。また、宗祖法然上人800年大遠忌を向かえるにあたり、浄土宗から提供されたのぼり旗を掲げ、掲示板

るのも、ボーイスカウトならではのでしょう。また、連盟から宗教章や信仰奨励章を取得

などを利用してアピールすることもできました。また、英語表記のテキストも用意していただきましたので、訪問してくれた海外のスカウトたちも喜んでくれました。



ジャンボリー期間中、多くのスカウトたちが浄土宗のパビリオンを訪れてくれたことは私たちにとても大変有意義でありました。全期間中開設をするという初めての経験でしたが、期間中パビリオンにご奉仕いただいた会員の皆様には心から御礼申し上げます。

第15回日本ジャンボリー報告 平和の祈りをこめて 宗教礼拝

浄土宗スカウト連合協議会事務局

中村 勝道

日本ジャンボリー3日目の8月5日、スカウトたちにとって大切なプログラムである平和の集いがジャンボリーアリーナ会場において行われました。その中でまずは各教宗派の宗教礼拝が行われました。その後全体の世界スカウト平和祈念式典と続きます。



浄土宗もその一角で宗教礼拝を実施しました。開始時刻が近づくとつれて各サブキャンプ会

場より続々とスカウトたちがアリーナ会場へ集結してきました。どれくらいかスカウトが浄土宗のエリアに集まってくれるのか正直心配していましたが、ジャンボリーがオープンし8月2日より信仰奨励サイトにおいて開設した信仰奨励章取得のためのパビリオンを訪れたスカウトたちの姿や、過去に仏教研修会に参加したスカウトら大勢のスカウトが集まってきてくれました。

受付の場所では来てくれたスカウトたちに当会で製作した「法然共生のチーフリン」を記念品として渡し



した。それを見たスカウトたちは口々に「これ、すごくカッコいいですね!」「宗教礼拝の時に付けていいですか?」などと口々に話し、とても好評でした。



宗教礼拝には浄土宗社会国際局里見嘉

嗣局長に導師として出座いただき、地元静岡教区北山大超教化団長にご臨席たまわりました。集まってくれたスカウトたちと一緒に宗教「つきかげ」、一枚起請文、十念のお勤めをして、局長より参加スカウトに向けて温かいご法話をいただきました。今回の宗教礼拝に参加したスカウトは最終的に約1,200人となりました。



浄土宗以外にもたくさんの方

宗派がブースを設けて盛大に実施しました。これだけ多くの宗教が一同に会してイベントを実施するという事はボーイスカウトの信仰奨励の表れであると確信します。

最後となりましたが、今回浄土宗の宗教礼拝を実施するにあたり、静岡教区教化団・青年会の皆様に変なご協力をいただきました。広いエリアで後ろま



で見える大きな本尊の掛け図や三具足等の仏具のご提供をいただき、当日は早朝より会場に駆け付けてくださり、さまざまなご奉仕をいただきました。お陰さまで無事にこの大行事が勤められましたこと心より御礼申し上げます。

第三十七回 浄土宗スカウト指導者研修会

ボーイスカウト東京連盟山手地区目黒1団

霊山寺寺院 内田新実



今年度の指導者研修会は、平成22年10月2、3日の1泊2日、長野教区松本組真光寺住職の近藤秀祐上人のご尽力により、開催されました。

1日目前半は松本城にて、松本市観光ボランティアの方から「城築と城の役割」についてお話を伺いました。水堀に囲まれた城郭、黒い城壁と朱色の橋のコントラストが風格を現わしています。



急な階段を上り天守閣にあがると、天井はがっしりとした梁が組まれ、その中心には松本城を守る神が祀られています。そして、南には將軍をもてなすために作られた月見櫓と辰巳附櫓が置かれています。どちらも武備はなく優雅な情景で、戦乱の世を過ぎ、松本城は近代城郭として人々に親しまれていった様子がわかります。

次に場所を真光寺に移し、長野教区教化団副団長松本組玄向寺の荻須眞教上人よりお話を伺いました。長野県の松本地方は激しい廃仏毀釈の流れにより、140か寺もの寺院が破却されてしまいました。そして、廃寺の6割は学校になり、庫裡は教室として、鐘は換金され経費にあてられました。僧侶は農業に従事するよう命ぜられ、そして民家の間には墓地だけが残って



いったそ
うです。
そこか
らの復興
はまさに
血のじ
むような
活動があ

ったとお話に鳥肌が立つ思いでした。檀信徒を繋ぎ止める布教活動の一つの例として、昔から松本には曹洞宗の寺院が多いため葬儀形式はそれに習い、指導者が3人出座する際には、それぞれが払子を振るといふ興味深い余話を伺いました。宗派の垣根を越え、その土地独特の法式が根付いていったそうです。また、4月には各宗派合同で花まつりを開催したり、托鉢を行ったりしています。このように今でも精力的に活動することによって、松本はここまでの復興を果たせたのです。最終日は、富山県と長野県の県境に位置する黒部ダムに向かいました。

関西地域は、戦後経済復興に伴い、深刻な電力不足に見舞われました。各地で電力制限や停



の先人の
犠牲があ
ったから
こそ、日
常を何の
心配もな
く生き、
生かされ
ているの

だと感じました。

本研修では、城を通して平和の尊さ、激しい廃仏毀釈から復興した松本の歴史を知り、そして黒部ダムからは先人のご辛勞、自然との共生について、今一度考える機会となりました。これらの学びを浄土宗スカウトの活動に役立てていきたいと思

第五十四回 浄土宗スカウト仏教章研修会

浄土宗スカウト連合協議会事務局

研修隊副長 脇川 公暢

平成22年3月27日(土)から29日(月)にかけての2泊3日、大本山増上寺に於いて浄土宗スカウト仏教章研修会が行われました。



大本山増上寺は、ボーイスカウト港15団の活動拠点でもあり、スカウト運動に大変ご理解をいただいております。3月末という御忌の準備で忙しいさな

か、大本山の恵まれた施設をお貸しただけしたことによって、今回の研修会もスムーズに行うことができました。

今回の仏教章研修会も募集定員を上回る申込があり、全国各地から仏教章取得を志すベンチヤースカウトならびにボーイスカウト50名の参加がありました。

研修会では、釈尊伝とその教え、宗祖の伝記とその教えを学び、参加スカウトたちは、研修スタッフとともにお勤めや別時念仏も実践しました。

普段の生活では仏教にあまり接点がないスカウトたちが、お釈迦様、浄土宗の宗祖である法然上人を知ることや浄土宗の日常勤行を行うことは、貴重な体験だったのではないのでしょうか。

また研修2日目の夜には、研修会の中でもっとも大切な儀式「帰敬式」に臨みます。ここに

帰敬式を終えたスカウトたちの感想をいくつか紹介させていただき、研修会の報告とさせていただきます。



「帰敬式は厳かな雰囲気の中行われ、仏・法・僧の三宝を重んじ、お釈迦様の存在を信じることを誓った。私は今回この研修会に参加するまで、自らの信仰する宗教が何であるかすら知らなかった。しかし、私も



本当の意味でのスカウトになる

べく、B・Pの言葉である、『信仰を持たぬスカウトはただの技術屋である』という言葉を感じ、自らの信仰する宗教として浄土宗を選択した。私はこの研修が終わっても、浄土宗を信仰する一人の人間であることは変わらない。そのことを日々意識しながら念仏を唱えたい。」

このような感想が参加スカウトから聞こえてくる充実した内容でした。



2泊3日という限られた時間の中で、中学生・高校生年代のスカウトたちは、宗教を学び、体験したことで、人生における「宗教・信仰」という大事なテーマを考える大きな転機になったのではないのでしょうか。

スカウトたちには、この研修会を通して学んだこと、感じたことを、これからのスカウティングに役立て、浄土宗スカウトとして邁進されることを期待しています。

栄 誉 を 讃 え ま し ょ う

浄土宗仏教章授与スカウト (平成22年3月2日～平成23年1月12日)

浄土宗承認	氏 名	団	寺院名	教導職	浄土宗承認	氏 名	団	寺院名	教導職
H22.3.2	小林 洋明	甲 府 7	称 念 寺	小関 恒夫	H22.12.7	藤原健一郎	君 津 2	選 擇 寺	山本 恵司
H22.3.11	後藤 要	尼 崎 15	西 運 寺	田野島孝道	H22.12.7	森山 優太	君 津 2	選 擇 寺	山本 恵司
H22.4.30	須藤 優輝	八王子 7	察 順 院	木村 良成	H22.12.7	勝見 齐充	君 津 2	選 擇 寺	山本 恵司
H22.5.14	魚住 詩織	一 宮 5	西山浄土宗 西 方 寺	魚住 亮宏	H22.12.7	佐々木裕太	君 津 2	選 擇 寺	山本 恵司
H22.7.20	毛呂 大亮	横 浜 125	西 應 寺	北條 雅道	H22.12.7	地曳 周嶺	木更津 2	選 擇 寺	山本 恵司
H22.7.20	船橋 嘉一	大 村 1	長 安 寺	田中 勝宏	H22.12.20	羽村 浩希	青 梅 3	察 順 院	木村 良成
H22.7.27	大田 全昭	京 都 92	西 德 寺	大田 清昭	H23.1.5	西田 純子	岸和田 4	西 方 寺	西田 元光
H22.8.10	村田 尚紀	新 宿 13	来 迎 寺	林 正教	H23.1.5	奥野 昂亮	京 都 79	総本山知恩院	鶴飼 義昭
H22.9.30	矢澤 諒人	飯 田 1	柏 心 寺	安静 俊祐	H23.1.5	奥野 紘規	京 都 79	総本山知恩院	鶴飼 義昭
H22.10.26	安田 克大	八王子 12	察 順 院	木村 良成	H23.1.5	竹門 芳秋	京 都 79	総本山知恩院	鶴飼 義昭
H22.10.26	戸山 萌香	八王子 11	察 順 院	木村 良成	H23.1.5	東 樹里	兵 庫 14	西 運 寺	田野島孝道
H22.11.15	小林 誉幸	行 橋 1	酉 福 寺	波多江昌弘	H23.1.12	会津 匠	長 野 1	真 光 寺	近藤 秀祐
H22.12.1	大久保真世	板 橋 3	清 光 寺	岡本 圭示	H23.1.12	太田 直也	長 野 1	真 光 寺	近藤 秀祐
H22.12.1	高瀬 翔也	板 橋 3	清 光 寺	岡本 圭示	H23.1.12	池田 康弘	長 野 15	真 光 寺	近藤 秀祐
H22.12.1	瀬戸 龍一	板 橋 3	清 光 寺	岡本 圭示	H23.1.12	海野 裕希	長 野 15	真 光 寺	近藤 秀祐
H22.12.7	中村 翔	君 津 2	選 擇 寺	山本 恵司					

信仰奨励パネルシアターを製作しました！

～ 信仰奨励章の普及にご活用ください～

アンノンスカウト (UNKNOWN SCOUT)

場面は1909年の霧のロンドンから始まります。アメリカのシカゴから来たウイリアム・ボイス氏が霧の深いロンドンで道に迷っています。困っているボイス氏に一人の少年が近づいて来て「何かお困りですか」と声を掛けました。そこでボイス氏は探している出版社を伝えました。少年は「僕に付いて来てください」と先に歩いて、案内してくれました。



出版社に着くとボイス氏は少年にお礼を言って、アメリカの習慣でチップを渡そうとしました。しかし、ボイス氏がチップを取り出す前に、少年は勢いよく右手の3本の指で敬礼して言いました。「僕はボーイスカウトです。今日も何か良いことを一つしたいと思っていました。お役に立ててうれいす。スカウトは人の役に立つことでお礼はもらいません。」

ボイス氏は感心して、少年にボーイスカウトの本部に案内してくれるように頼み、連れていってしまいました。そこで、少年は、名前も告げずに消えてしまいました。

本部でボーイスカウトのこ

とを聞いたボイス氏は、アメリカに帰国するとホワイトハウスを訪ね大統領に直接会ってボーイスカウトのことを話しました。そして、この運動はまたたく間に全米に広がったのです。

今日も世界のどこかでボーイスカウトは明るく活動しています。



アンノンソルジャー (UNKNOWN SOLDIER)

1945年、太平洋戦争末期のことです。日本とアメリカが南太平洋の島で激しい戦いを繰り広げました。ある島でアメリカ兵が小さな岩かげから日本兵を迎え撃っていました。そのアメリカ兵の中にソルトレイクシティ出身の若者がいました。



激しい日本軍の攻撃でそのアメリカ兵は負傷して倒れてしまいました。日本兵が近づいてくるとアメリカ兵は意識を失いますが、そのとき無意識のうちに3本指の敬礼をしていたのです。

その姿を見た日本兵は、けがをしているアメリカ兵に応急処置を施して、手紙を書いてその場を立ち去りました。しばらくして気が付いたアメリカ兵は、その手紙を見つけ読みました。そこには次のようなことが書いてありました。「自分もかつてはボーイスカウトだった。同じスカウトの仲間を殺すことはできなかつた。幸運を祈る。」

その兵士は無事にアメリカに帰り、この話がボーイスカウト連盟の総会の席上で発表され、大反響を呼びました。現在、神奈川県のごどもの国に無名スカウト戦士のモニュメントが建てられています。



今年度は貸し出し用パネルシアターセットの作成や自分たちで作れるようなデータの提供を検討していきます。

大本山増上寺 法然さまを たたえるよい子のつどいに 浄土宗スカウト集結せよ!

大本山増上寺800年御忌を記念して子どもたちのための大イベントが開催されます。平成23年4月9日(土)に増上寺境内全域でのイベントや、旧芝離宮庭園から増上寺までの大パレードが催されます。

パレードのスタートは午前10時。パレードが増上寺に到着する11時からは、大殿において幼稚園・保育園の子どもたちによる音楽法要が勤められます。イベントは、大殿前に設置される大舞台や光摂殿前広場、安国殿前広場さらには三門からの参道などで参加団体の持ち味を生かした催しが、10時から16時までの間に執り行われます。

浄土宗スカウトは、パレードで勢至丸様の山車を引いたり、参加団体のプラカードを持ったりします。また、イベントでは、熊野神社から鐘楼堂裏の広場で、モンキーブリッジや工作、さらには車輪を付けた乗物で滑り降りるコースターを担当しま

す。また、境内を使ってスタンラリーも行いますので、ぜひ大勢の子どもたちを引き連れ参加してください。当日の奉仕者も大歓迎です。

祝！周年記念

平成22年度に追加で申請のあった団を表彰しました。おめでとうございます。

- ・ボーイスカウト滋賀連盟草津第1団発団60周年
- ・ボーイスカウト大阪連盟大阪第71団発団50周年

平成22年度事業報告

本文に掲載事業以外の主な活動を報告します。

- ・ハワイ開教区ヒロ明照院100周年記念式典
- 6月26日の式典に当会理事長以下有志が制服で参列いたしました。
- ・日本のガールスカウト運動90周年

ガールスカウトが90周年を迎え、当会有志が祝意を表し10万円を寄付することができました。ご協力に感謝いたします。

今年度 主な行事予定

■総会開催のお知らせ

平成23年度年次総会を左記のとおり開催いたします。本年は役員改選の年に当たります。どうぞ、お練り合わせの上ご出席をお願いします。

日時 平成23年5月13日(金)

午後2時～4時

場所 宗務庁東京第1会議室

■平成23年度指導者研修会

平成23年度は、仏教ガールスカウト研修会・仏教スカウト指導者研修会が開催されますので、浄土宗スカウトとしての指導者研修会は開催しない予定です。担当は、真宗本願寺派です。

東京都での開催が予想されます。詳細は未定ですが、決まり次第お知らせいたします。

ぜひ他宗の方々と交流し共生の精神で生かし合い、スカウト運動に信仰の輪を広げましょう。

■第55回仏教章研修会

第55回仏教章研修会は、東京での開催を予定しています。定員は40名ですが、多くのスカウトに参加していただきますようお願いいたします。

日程 平成24年3月27日(火)

(29日(木))

場所 東京(詳細未定)

地元開催を要望される方は必ず総会にご出席をお願いいたします。

平成22年度広報掲載報告

◆宗報

・6月号(仏教章研修会報告)

・8月号(総会報告)

・9月号(指導者研修会開催案内)

・2月号(仏教章研修会開催案内、仏教章事前研修のお願い)

◆浄土宗新聞

・10月号(ジャンボリー宗教礼拝)

◆メールニュース

・No.22から24まで配信

※メールニュースの配信および会員向けメールマガジンの登録希望の方は、事務局まで。

スカウト浄土

(第三十号)

■発行/平成二十三年三月二十日

■東京都港区芝公園四一七一四

■浄土宗宗務庁社会国際局内

■浄土宗スカウト連合協議会

■URL: <http://scout.jodo.or.jp>

■e-mail: scout-info@jodo.or.jp

■編集者/巖谷勝正

■印刷/小竹印刷(株)